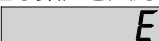


自動切替タイマーの登録

(3) 消去

カウンターの表示が確認方法、順序3～4のとき、**クリア**ボタンを押し  を表示中に、**セット**ボタンを押すとその登録内容が消去できます。






ワンポイント

- 登録できる切り替えの数は最大56です。登録中に56をこえるとカウンターに、**R. FULL** と表示され、ブザーが鳴ります。また、56をこえるためコピーできなかった場合及びコピーにより、ちょうど56になった場合は **C. FULL** と表示されます。自動切り替えボタンを押してアラームを解除してください。
- 登録中に不合理な数値を入力した場合はエラー表示となります。(例えば25時00分などを入力した場合)カウンターはエラー表示  となり、ブザーが鳴ります。**クリア**ボタンを押して再度正しい数値を入力してください。
- 登録の途中で60秒以上、何もしないと、ブザーが鳴り解除となります。その場合は再度、最初から操作してください。

4. 休日の登録・変更

- ・自動切替タイマーに登録した「応答専用」モードの設定以外に、年間の祝日(計11日…下表)は、自動的に応答専用モードに切り替わります。
- ・祝日以外の休日を設定する必要がある場合(例えば、年末、年始の休日、夏休み、会社創立記念日など)は、次の方法により休日の追加登録ができます。(追加できる数:21日)

(1) 休日の追加登録のしかた(例 元日以外に、1月2日～1月5日を休日にする場合)

1	解除 ボタンを押します。(メッセージは、あらかじめ録音しておきます)	
2	タイマーセット ボタンを押します。	
3	8 ・ セット と、ボタンを押します。 …自動登録されている祝日の1月1日がカウンターに表示されます。	
4	セット ボタンを押すたびに自動登録されている祝日が表示され、合計1回押すと未登録表示() になります。	
5	休日の追加登録を行います。 まず、1月2日を登録するので、 6 ・ 0 1 月・ 0 2 日と押します。	
6	セット ボタンを押します。	これで、1登録されました。
7	続いて、順序5、6と同様の方法で1月3日～1月5日を追加登録します。	
8	すべての追加登録が終わったら 解除 ボタンを押します。	

★自動登録される祝日

1月 1日	元旦	5月 5日	こどもの日
2月 11日	建国記念の日	9月 23日	秋分の日
3月 21日	春分の日	11月 3日	文化の日
4月 29日	みどりの日	11月 23日	勤労感謝の日
5月 3日	憲法記念日	12月 23日	天皇誕生日
5月 4日	国民の日		

(2) 祝日、休日の消去のしかた

自動登録されている祝日、または一度登録した休日を消去する場合は、上記の順序3のとき、カウンターに消去する月日を表示中に、**クリア**→**セット**と押します。

(3) 休日の変更のしかた

変更する(旧)年月を(2)の方法により消去し、(新)年月を順序4の未登録表示になったとき、順序5、6と同様の方法で入力し、登録します。